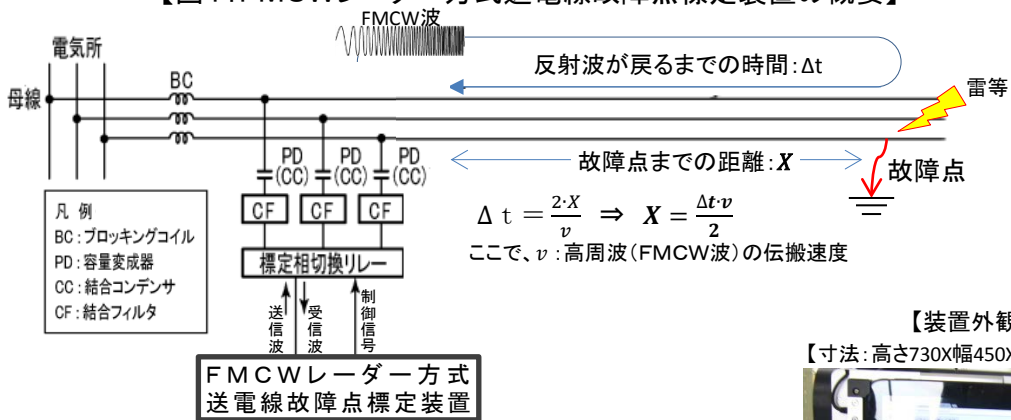


1. FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置の概要

今回開発した「FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置」の概要は、図1のとおり。

【図1:FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置の概要】



【装置外観】

【寸法: 高さ730X幅450X奥行440mm】

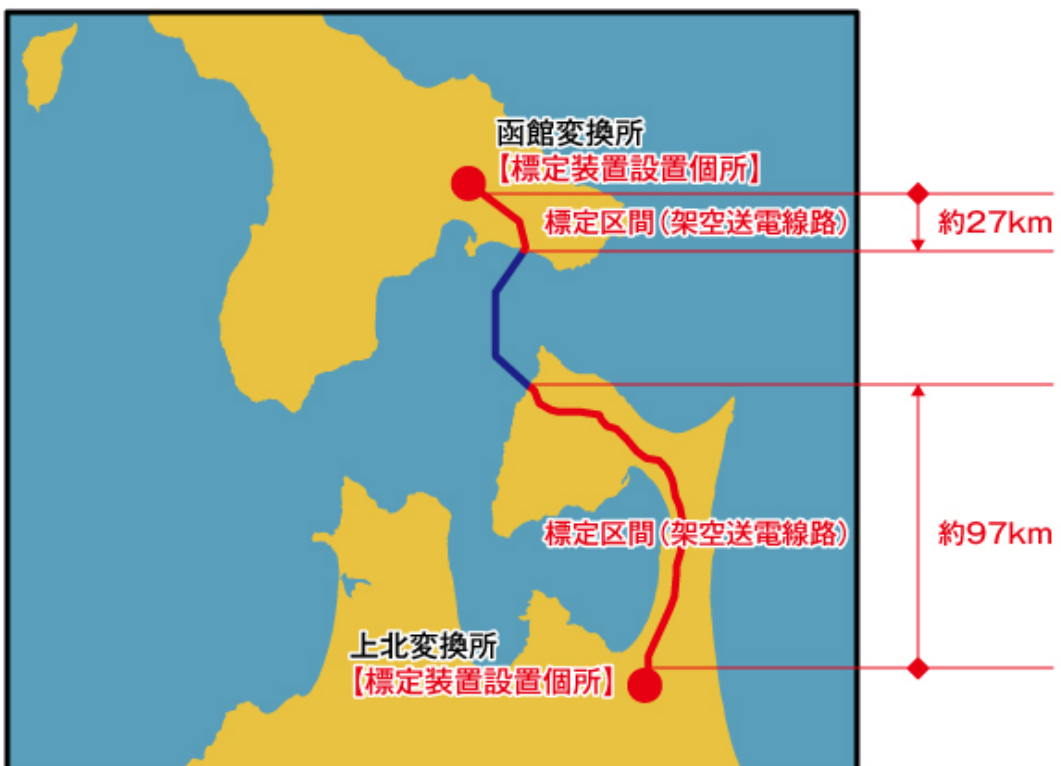


標定方式	FMCWレーダー方式
構成	波形入出力処理装置、回線切替器
印加パルス電圧	150V _{rms} 以下 (rms, 正弦波)
印加パルス形態	周波数変調連続波 (FMCW)
印加パルス掃引時間	可変
印加パルス周波数	kHz帯 (現場条件により範囲設定)
印加方式	金属回路方式/金属回路大地帰路方式
標定可能距離	200km以上
標定結果の表示	標定値 (故障点距離) 表示、標定回線・相表示、波形データ、近傍情報、メールによる標定値転送
データ記録方式	電子媒体保存
構造	自立規格架 (19インチラック) 収納

2. 北海道・本州電力連系設備での運用概要

北海道・本州電力連系設備での「FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置」の運用概要は、図2のとおり。

【図2: 北海道・本州電力連系設備 FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置の運用概要】



※直流帰線は常時接地されており、事故時の故障電流が微弱なため、レーダー方式 (パルス方式または、FMCW方式) のみが故障点標定が可能